

「2003年度NIE・保護者に対する調査」  
結果報告書

2004年7月

日本新聞教育文化財団

## はじめに

新聞活用の家庭での効果は——日本新聞教育文化財団は2003年度（2004年1月～3月）、初の試みとして新聞活用授業を実践している児童・生徒の保護者を対象に「NIE調査」を実施しました。

これまで学校の教育現場を対象に毎年、NIE実践効果測定調査や総合学習に関する調査などを行ってきましたが、近年、NIEは学校のみならず家庭や地域社会における教育に寄与することが期待されています。昨年、松江市で開催された第8回NIE全国大会では子どもから大人まで学校、家庭、地域が連携した「生涯学習型のNIE」が提案されました。そこで保護者を対象にした調査を実施、今後の活動指針の一助にしようというわけです。

東京都、大阪府に加え、2004年度全国大会を開催する新潟県および2005年度開催する鹿児島県の4都府県の小中各2校計16校の保護者の方にご協力いただきました。

新聞財団博物館・NIE委員会のNIE第一専門部会が調査項目の設計、回収、集計、分析にあたり、実際の作業は同部会の調査チームが行いました。調査は対象校の先生方のご協力を得て、児童・生徒に調査票を渡し、各家庭でアンケートに回答していただく形で実施しました。

教育界と新聞界が協力してNIEに取り組み始めてから15年が経ちました。その間、多種多様な実践が全国各地で行われ、毎年NIE実践校は約400校にのぼり、各方面からのNIEに対する期待が高まっていることを感じております。

今回の調査結果からも新聞活用授業は、保護者の方々からも期待が大きいことがわかりました。次ページ以降のデータ、分析をお読みいただき、今後のNIE実践に役立てていただければ幸いです。

調査にご協力いただいた先生および保護者の方々に、あらためてお礼申しあげます。

# 2003年度保護者に対する調査

## 調査概要

### (1) 調査対象

NIEを実践している小・中学生の保護者

#### <調査対象校>

東京都	練馬区立豊玉第二小学校 大田区立矢口小学校 八王子市立陵南中学校 世田谷区立芦花中学校
新潟県	新潟市立浜浦小学校 新潟市立沼垂小学校 新潟大学教育人間科学部附属中学校 長岡市立南中学校
大阪府	大阪市立高見小学校 大阪教育大学附属天王寺小学校 大阪市立天王寺中学校 大阪教育大学附属天王寺中学校
鹿児島県	笠沙町立玉林小学校 姶良町立姶良小学校 鹿児島市立谷山北中学校 鹿児島市立吉野中学校

### (2) 調査方法

郵送法：各学校を経由して保護者が回答

### (3) 回答校・回答者数

小学校	8校	605人
中学校	8校	543人
計	16校	1148人

### (4) 調査期間

2004年1月26日(月)～3月31日(水)

## (5) 調査項目

1. NIEの認知度 ······
2. 新聞を読む習慣 ······
3. 子どもが親に話す新聞記事 ······
4. 親が子どもに話す新聞記事 ······
5. 子どもの変化 ······
6. 新聞活用授業の評価 ······
7. 先生に気をつけてほしいこと ······
8. 新聞に求めるもの ······

## 1. N I Eの認知度

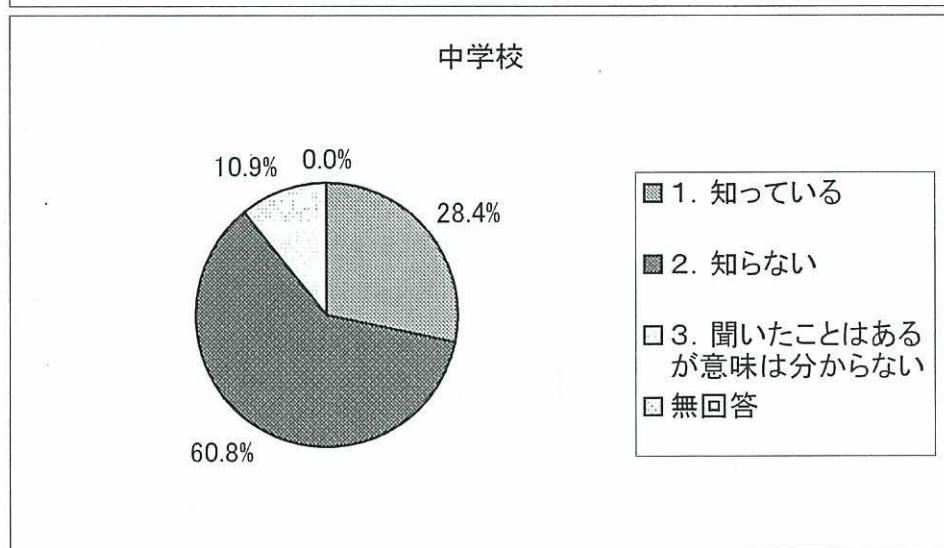
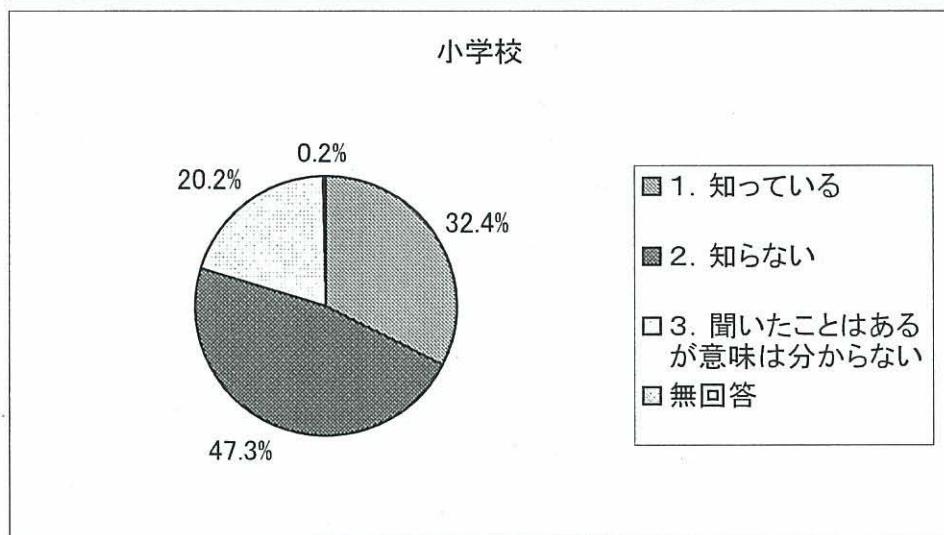
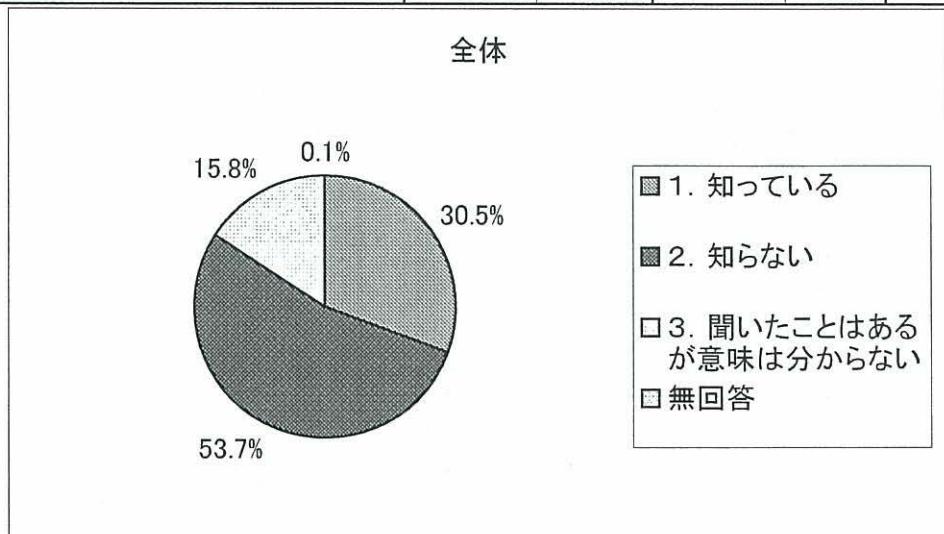
「N I E」という言葉を知っているかの問い合わせでは、全体では3割が「知っている」と答え、半数近くが「知らない」と回答している。

小中別で見ると、小学校では「知らない」の回答が47.3%であるのに比べ、中学校は60.8%と高くなっている。中学校の方がN I Eの認知度が低いことが分かる。

また、地域別で見ると、東京、大阪の都市圏では「知っている」が2割強で「知らない」が半数以上を占めているのに比べ、新潟、鹿児島の地方都市では「知っている」が3割を超える、「知らない」が半数以下となっている。

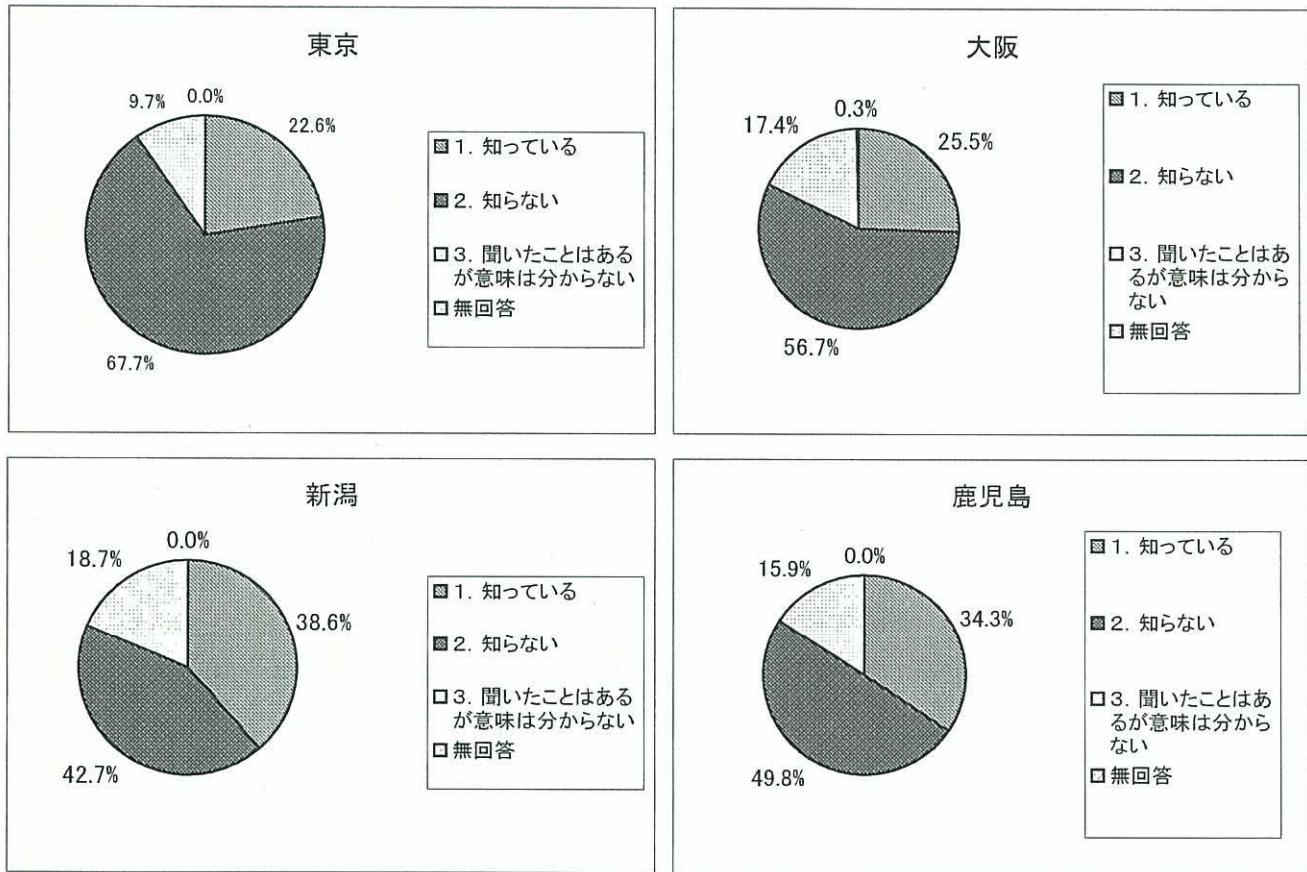
1-1. 「NIE(エヌ・アイ・イー)」という言葉を知っているか

	全体	%	小学校	%	中学校	%
1. 知っている	350	30.5%	196	32.4%	154	28.4%
2. 知らない	616	53.7%	286	47.3%	330	60.8%
3. 聞いたことはあるが意味は分からない	181	15.8%	122	20.2%	59	10.9%
無回答	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%
	1148	100.0%	605	100.0%	543	100.0%



1-2. 「NIE(エヌ・アイ・イー)」という言葉を知っているか

	全体	%	東京	%	大阪	%	新潟	%	鹿児島	%
1. 知っている	350	30.5%	58	22.6%	82	25.5%	130	38.6%	80	34.3%
2. 知らない	616	53.7%	174	67.7%	182	56.7%	144	42.7%	116	49.8%
3. 聞いたことはあるが意味は分からない	181	15.8%	25	9.7%	56	17.4%	63	18.7%	37	15.9%
無回答	1	0.1%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
	1148	100.0%	257	100.0%	321	100.0%	337	100.0%	233	100.0%



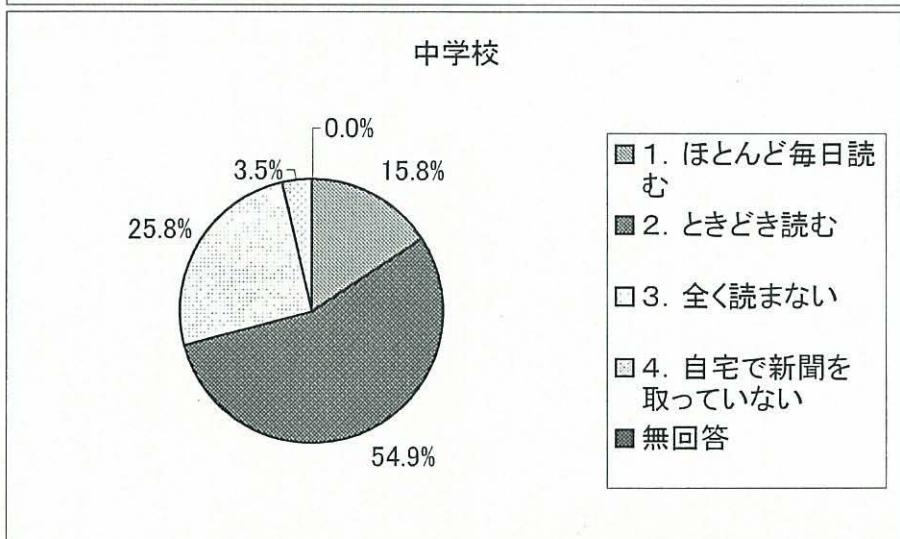
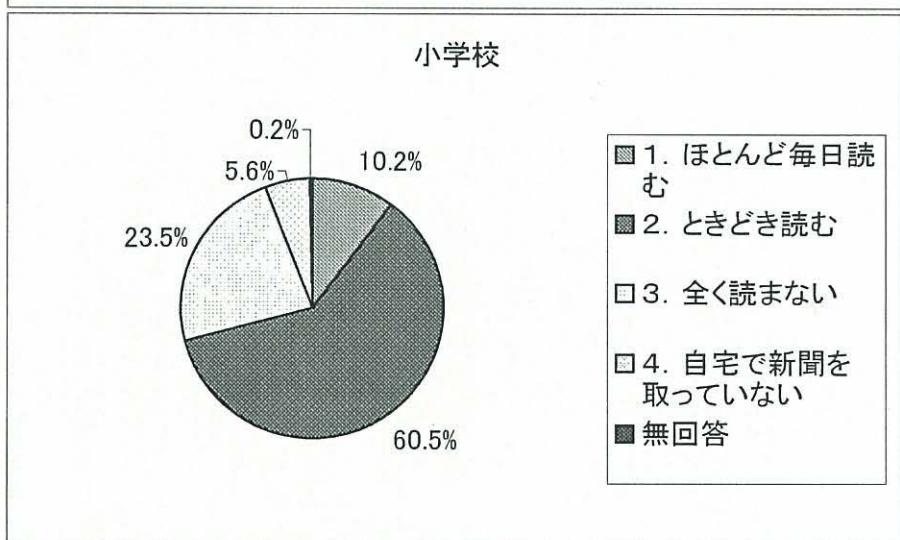
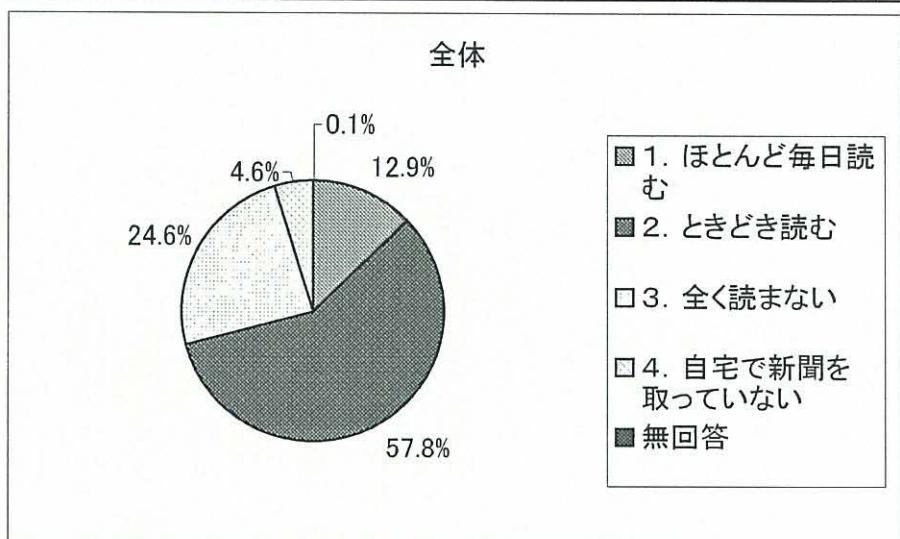
## 2. 新聞を読む習慣

子どもが自宅で新聞を読む習慣があるかの問い合わせでは、1割強が「毎日読む」と答え、6割近くが「ときどき読む」と答えており、「毎日読む」と「ときどき読む」を合わせると、7割近くの子どもが新聞を読む習慣があることが分かる。小中別で見ても大きな差違は見られなかった。

地域別では東京で「自宅で新聞をとっていない」(9.7%)家庭が多く、鹿児島は家庭で新聞を「ほとんど毎日読む」(3.9%)子どもが少ないので目立つ。

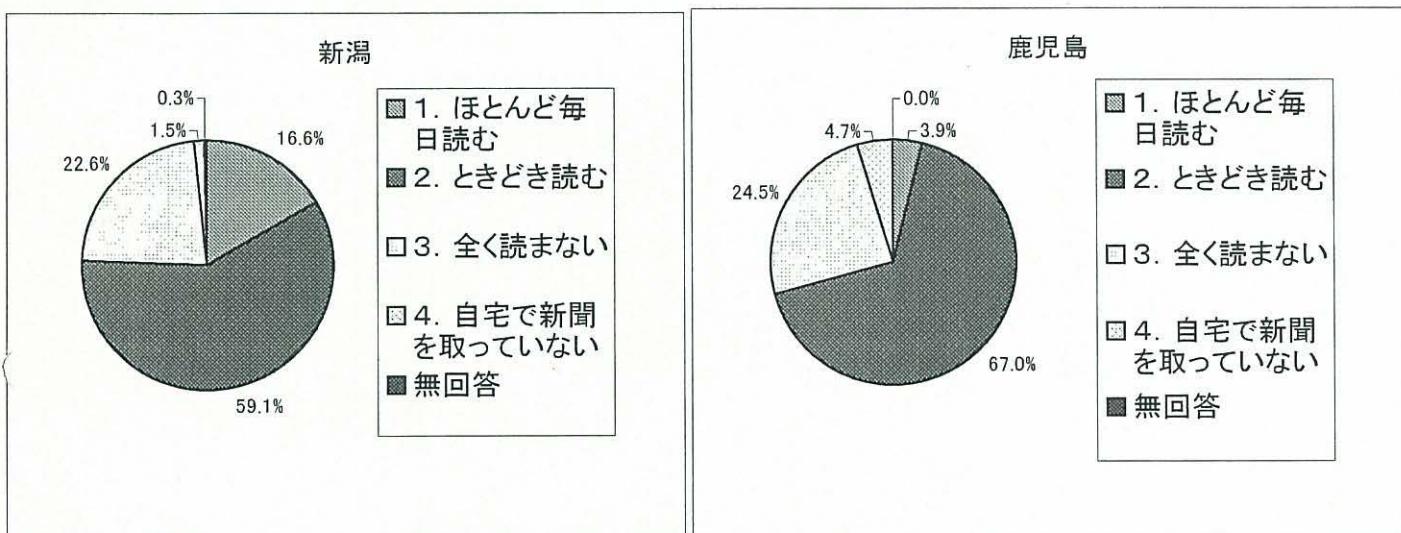
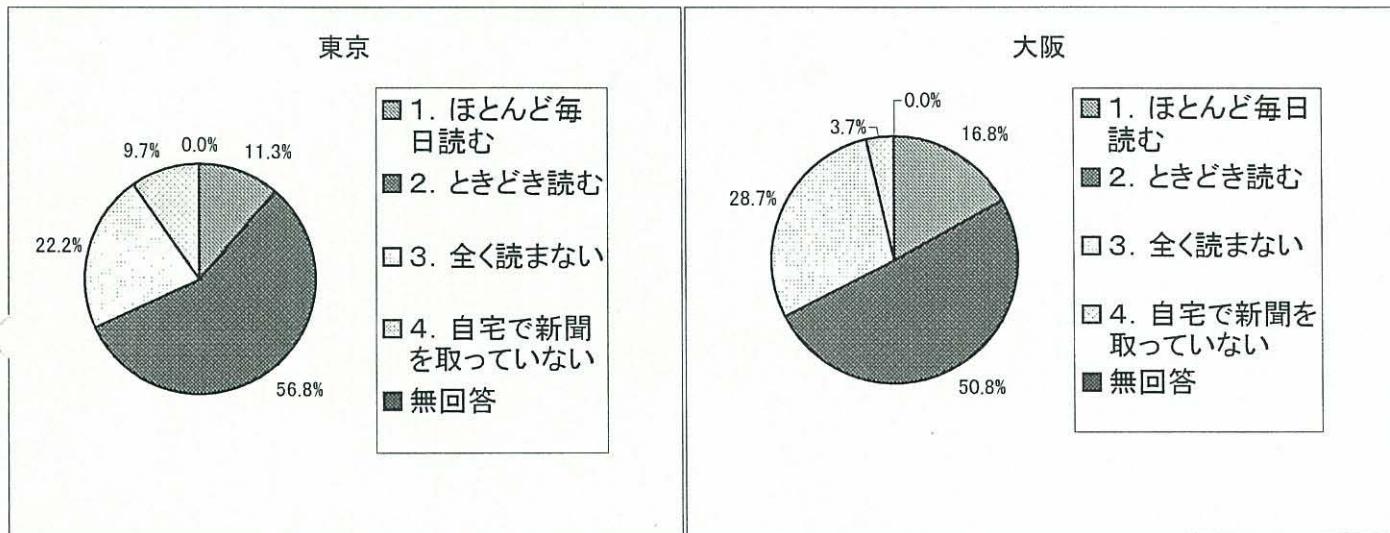
## 2-1. 子どもが自宅で新聞を読む習慣があるか

	全体	%	小学校	%	中学校	%
1. ほとんど毎日読む	148	12.9%	62	10.2%	86	15.8%
2. ときどき読む	664	57.8%	366	60.5%	298	54.9%
3. 全く読まない	282	24.6%	142	23.5%	140	25.8%
4. 自宅で新聞を取っていない	53	4.6%	34	5.6%	19	3.5%
無回答	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%
	1148	100.0%	605	100.0%	543	100.0%



## 2-2. 子どもが自宅で新聞を読む習慣があるか

	全体	%	東京	%	大阪	%	新潟	%	鹿児島	%
1. ほとんど毎日読む	148	12.9%	29	11.3%	54	16.8%	56	16.6%	9	3.9%
2. ときどき読む	664	57.8%	146	56.8%	163	50.8%	199	59.1%	156	67.0%
3. 全く読まない	282	24.6%	57	22.2%	92	28.7%	76	22.6%	57	24.5%
4. 自宅で新聞を取っていない	53	4.6%	25	9.7%	12	3.7%	5	1.5%	11	4.7%
無回答	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
	1148	100.0%	257	100.0%	321	100.0%	337	100.0%	233	100.0%



### 3. 子どもが親に話す新聞記事

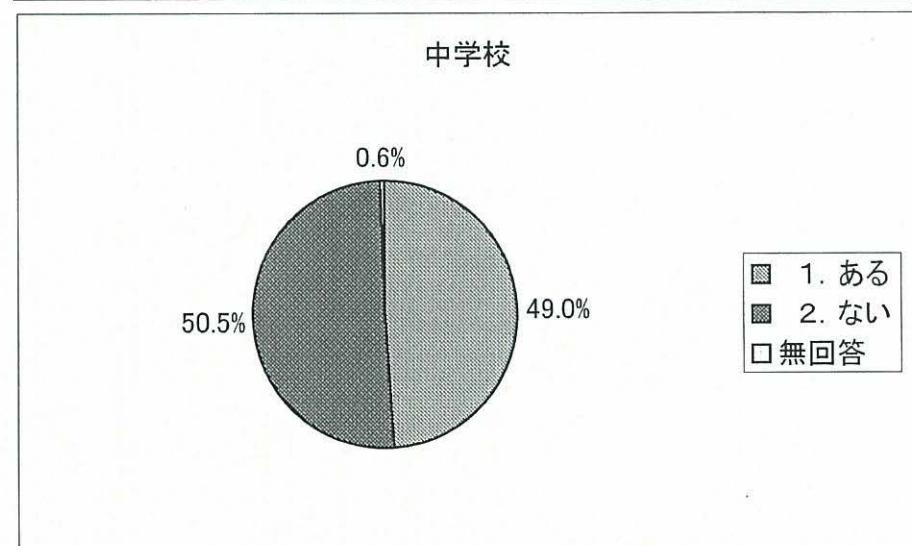
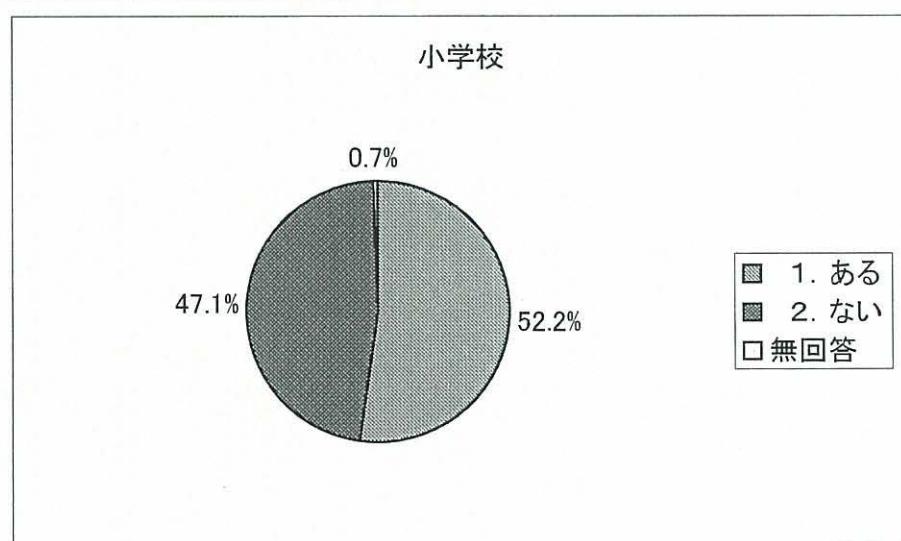
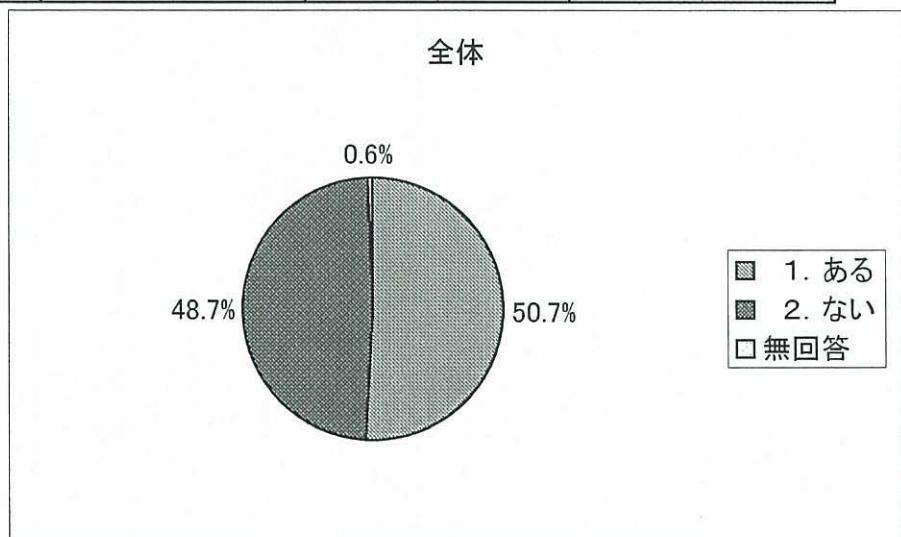
「子どもが新聞を読んだことについて親に話すことがあるか」では、「ある」がほぼ半数を占めて、小中、地域別でも大きな差異は見られなかった。

具体的にどのような記事について話したかを聞いたところ、野球やサッカーなどスポーツに関する記事という回答が最も多かった。自由回答で答えてもらったため、新聞の面名稱や具体的な事件などの回答が混在しており、正確な集計を取ることは難しいが、スポーツに次いでテレビニュースなどで話題になっている記事やイラク戦争の回答も多かった。

また、いじめや虐待など同年代の子どもに関する記事や、地域・地元に関する記事、リサイクルなど環境問題に関する記事を挙げた回答も多かった。

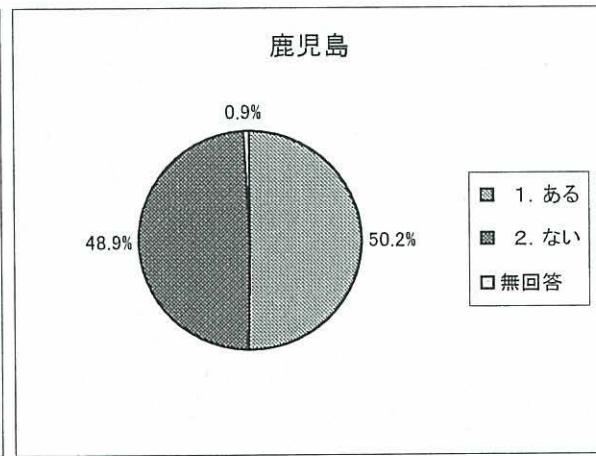
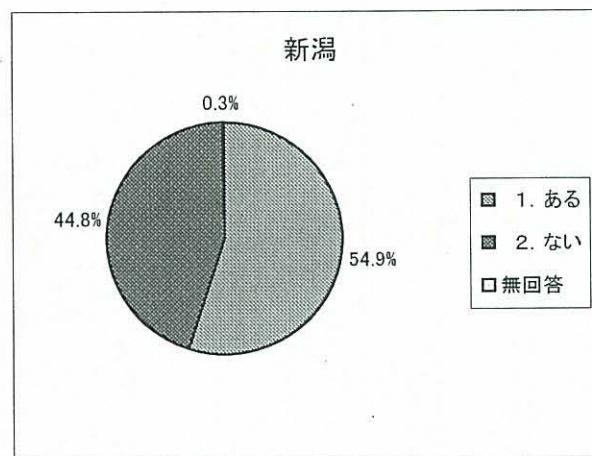
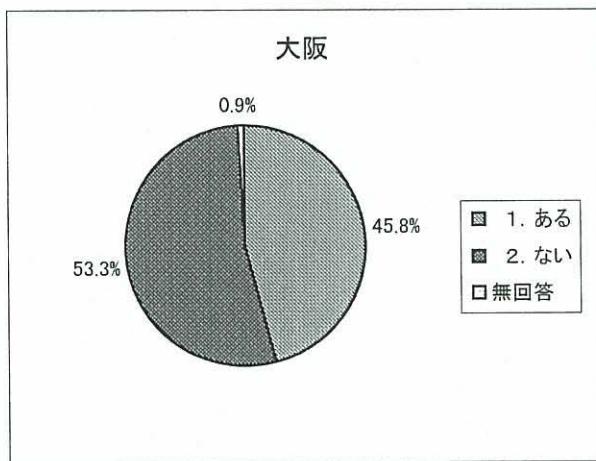
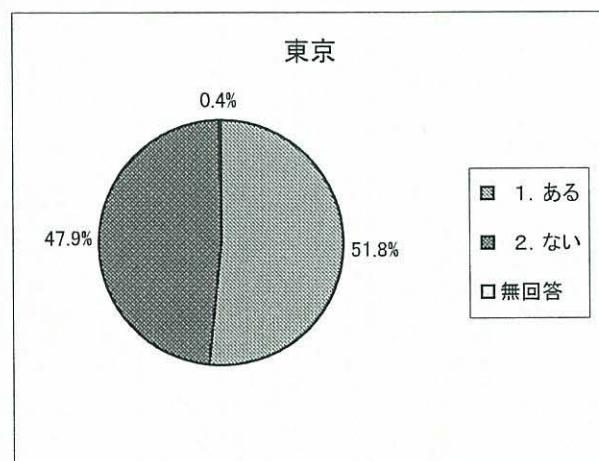
3-1. 子どもが新聞で読んだことについて、保護者に話すことはあるか

	全体	%	小学校	%	中学校	%
1. ある	582	50.7%	316	52.2%	266	49.0%
2. ない	559	48.7%	285	47.1%	274	50.5%
無回答	7	0.6%	4	0.7%	3	0.6%
	1148	100.0%	605	100.0%	543	100.0%



3-2. 子どもが新聞で読んだことについて、保護者に話すことはあるか

	全体	%	東京	%	大阪	%	新潟	%	鹿児島	%
1. ある	582	50.7%	133	51.8%	147	45.8%	185	54.9%	117	50.2%
2. ない	559	48.7%	123	47.9%	171	53.3%	151	44.8%	114	48.9%
無回答	7	0.6%	1	0.4%	3	0.9%	1	0.3%	2	0.9%
	1148	100.0%	257	100.0%	321	100.0%	337	100.0%	233	100.0%



### 3-3. 子どもが保護者に話す新聞記事

#### 複数出された意見

・スポーツ（野球やサッカーなど）	144
・T Vニュースでも話題になっている記事	80
・イラク問題（戦争、テロ、自衛隊派遣）	66
・同年代の子どもに関する記事（いじめ、虐待など）	38
・地域／地元の記事	30
・環境問題（リサイクル）	30
・一面トップ記事	19
・テレビ欄	17
・学校・生徒や教育に関する記事	16
・政治経済（国会、選挙、株式など）	15
・4コマ漫画	14
・鳥インフルエンザ	14
・北朝鮮問題（拉致）	13
・動物	12
・興味をもった記事	11
・天気	10
・B S E	8
・子どもが起こした事件（少年犯罪）	5
・コラム、エッセイ	4
・子供向けの記事	4
・投書	3
・季節に関する記事	2
・凶悪事件	2

#### その他

- ・おもしろい遊びの記事
- ・わかりやすく書いてある記事
- ・S A R S
- ・ダイオキシン
- ・家族について
- ・外国のこと
- ・芸能
- ・詩
- ・自治問題
- ・授業でとり上げられた記事について
- ・乗り物の事故・鉄道
- ・心理学者の話
- ・内閣などの仕組みについて
- ・日本国内の事件
- ・年金
- ・福祉関係について
- ・文化に関すること（世界遺産など）
- ・本が好きなので本についてのこと
- ・盲導犬について
- ・星の話
- ・「どうしてこう毎日悪い事ばかりなの？良い記事はないの？」
- ・「春の小川」の歌の川について

- ・「ロボタロ一日記」（毎日新聞）の記事の内容の意味を教えてほしがる。
- ・「親子でトライ」や沼垂小学校の栗の木川ルネッサンスの記事のことなど
- ・アニメの主人公ニモ（かくれくまのみ）の人気で沖縄で乱獲されて困っているという記事
- ・トキの記事
- ・オウム真理教について
- ・火星について、スペースシャトルなど
- ・最近では、火星に無人探査機が着陸した記事
- ・新種の昆虫、恐竜の化石発見、古墳や出土品
- ・青色LED特許訴訟の記事
- ・読んだことについての感想、自分の思ったこと
- ・分からない言葉や意味についてたずねる

#### 4. 親が子どもに話す新聞記事

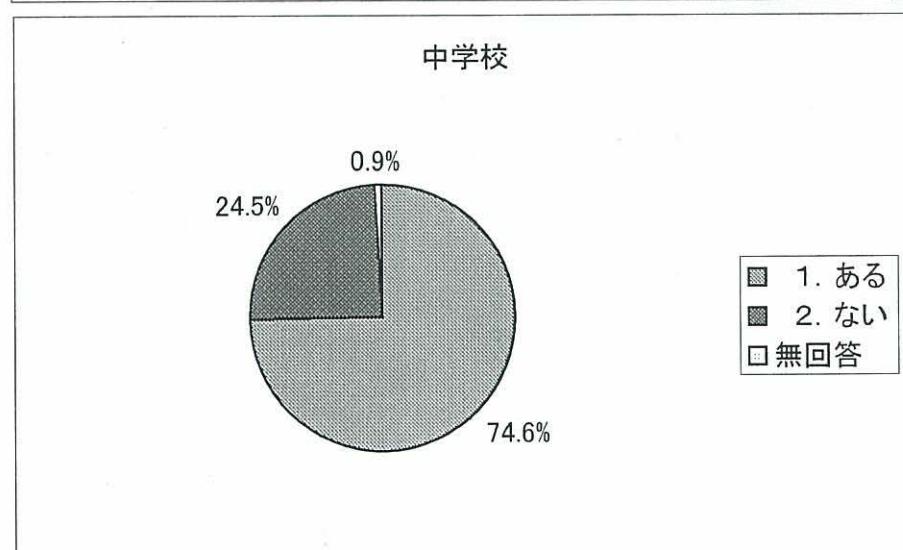
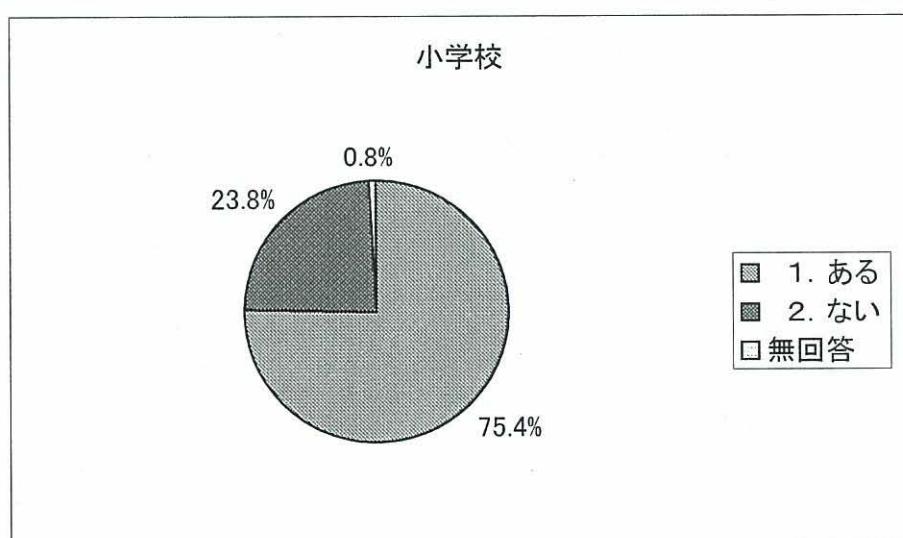
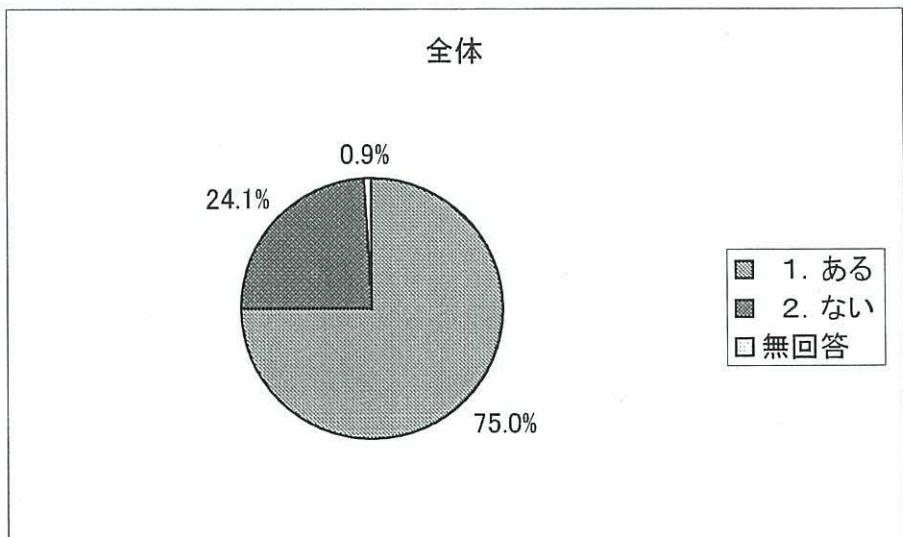
「親が新聞を読んだことについて子どもに話すことがあるか」では、「ある」が4分の3を占めて、小中、地域別でも大きな差異は見られなかった。

話した内容はテレビニュースなどで話題になっている記事の回答が最も多かった。次いで子どもが巻き込まれた事件やイラク戦争に関する記事が多く挙げられていた。

子どもが親に話す記事と比較すると、いじめ、児童虐待、少年犯罪など同年代の子どもに関する記事が多く、子どもに注意を喚起する内容を話すことが多いことが特徴だ。

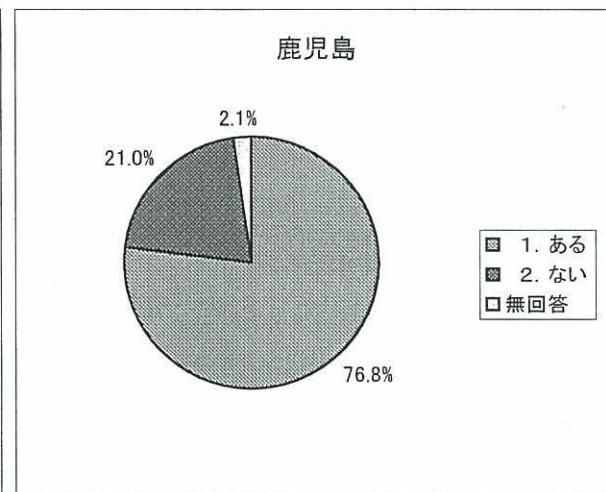
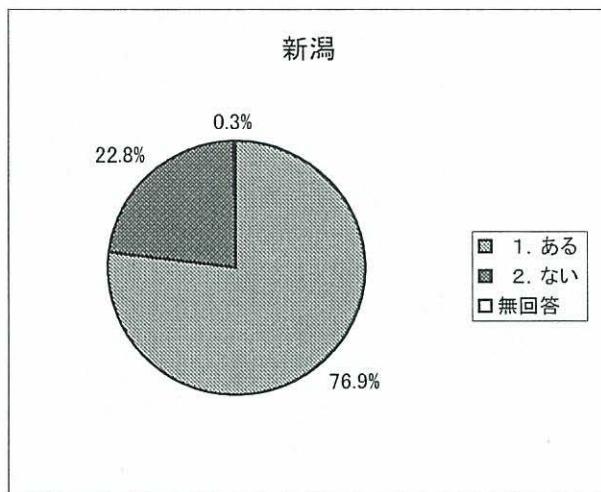
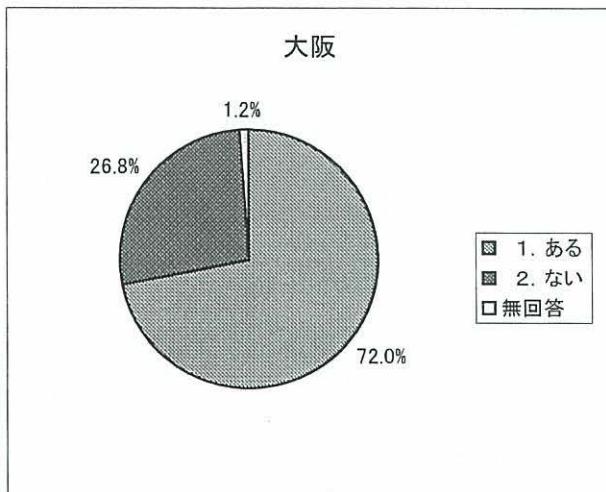
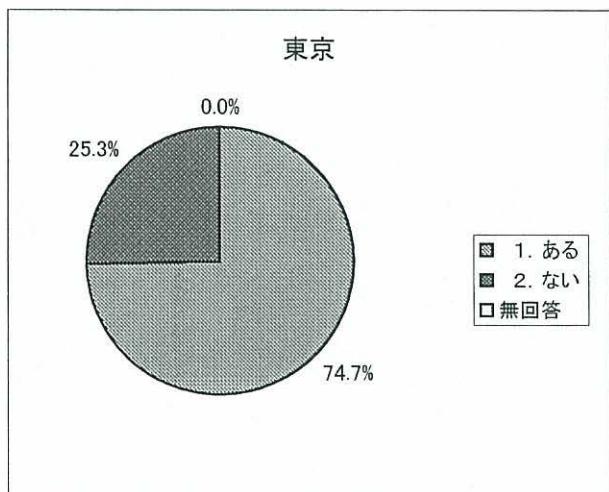
4-1. 保護者が新聞で読んだことについて、子どもに話すことはあるか

	全体	%	小学校	%	中学校	%
1. ある	861	75.0%	456	75.4%	405	74.6%
2. ない	277	24.1%	144	23.8%	133	24.5%
無回答	10	0.9%	5	0.8%	5	0.9%
	1148	100.0%	605	100.0%	543	100.0%



4-2. 保護者が新聞で読んだことについて、子どもに話すことはあるか

	全体	%	東京	%	大阪	%	新潟	%	鹿児島	%
1. ある	861	75.0%	192	74.7%	231	72.0%	259	76.9%	179	76.8%
2. ない	277	24.1%	65	25.3%	86	26.8%	77	22.8%	49	21.0%
無回答	10	0.9%	0	0.0%	4	1.2%	1	0.3%	5	2.1%
	1148	100.0%	257	100.0%	321	100.0%	337	100.0%	233	100.0%



### 4-3. 親が子どもに話す記事

#### 複数出された意見

・ T V ニュースでも話題になっている記事	153
・ 子どもが巻き込まれた事件（注意喚起のため）	91
・ イラク問題（戦争、テロ、自衛隊派遣）	86
・ 同年代の子どもに関する記事（いじめ、虐待など）	79
・ 地域／地元の記事	70
・ スポーツ	64
・ 学校／生徒に関する記事	53
・ 子どもが起こした事件	52
・ 環境問題	38
・ 興味をもった記事	32
・ 一面トップ記事	28
・ 投書	26
・ 選挙	25
・ 北朝鮮問題（拉致）	20
・ 鳥インフルエンザ	16
・ 感動した、心があたたまる記事	8
・ コラム、エッセイ	7
・ B S E	7
・ 季節に関する記事	3
・ 凶悪事件	3
・ 動・植物	3
・ 4コマ漫画	2
・ 天気	2
・ S A R S	2
・ 生活・家庭面	2
・ 医療	2
・ 社説	2

#### その他

- ・ N I E で使えそうな地元の活動に関するものなど
- ・ 面白そう本の記事
- ・ そんな事をしてしまうと、悲しむ人がたくさんいるという事や、絶対にしてはいけない、という事
- ・ ハンセン病
- ・ 覚えておいた方がよい記事、自分自身もまったく知らない話題の記事
- ・ 区の教育行政、様々な事件のほか子供から質問された事柄
- ・ 自分が興味を持った記事や知つておいてほしいと思った内容については「読んでごらん！」と声をかける。
- ・ 交通事故のことなど
- ・ 阪神・淡路大震災について
- ・ 事件、がんばった人の話
- ・ 秋の記事がほしいと言ったので稻の写真を見つけて話をした。
- ・ 終戦記念日関連

## 5. 子どもの変化

新聞を使った授業を受けたことによる子どもの変化について尋ねた問いでは「記事について家族や友だちと話すようになった」(45.5%)がトップで、次いで「新聞を進んで読むようになった」(31.1%)「自分で調べる学習態度が身についた」(30.8%)となっている。

「記事について家族や友だちと話すようになった」は小中別、地域別のすべての分類でトップとなっている。

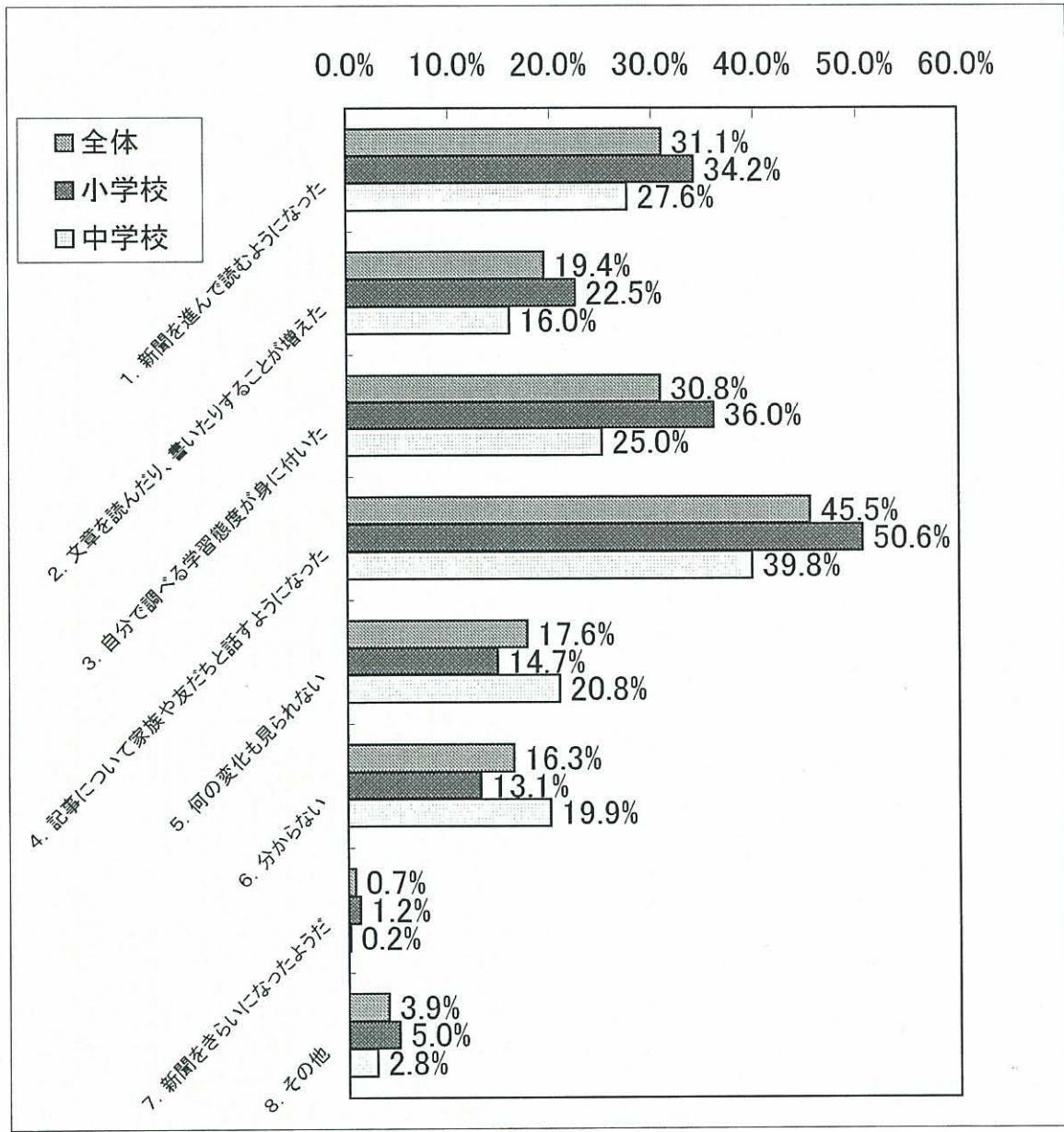
小中別では小学校の方が中学校よりも変化したと思われる項目の回答の割合（複数回答のため）が多い。小学校の方がNIEによって多くの効果が期待できることがうかがわれる。

地域別で見ると「文章を読んだり、書いたりすることが増えた」の回答が東京(21.8%)、大阪(25.5%)の都市圏では高い。

## 5-1. 学校で「新聞を使った授業」を受けたことによる子どもの変化

※複数回答

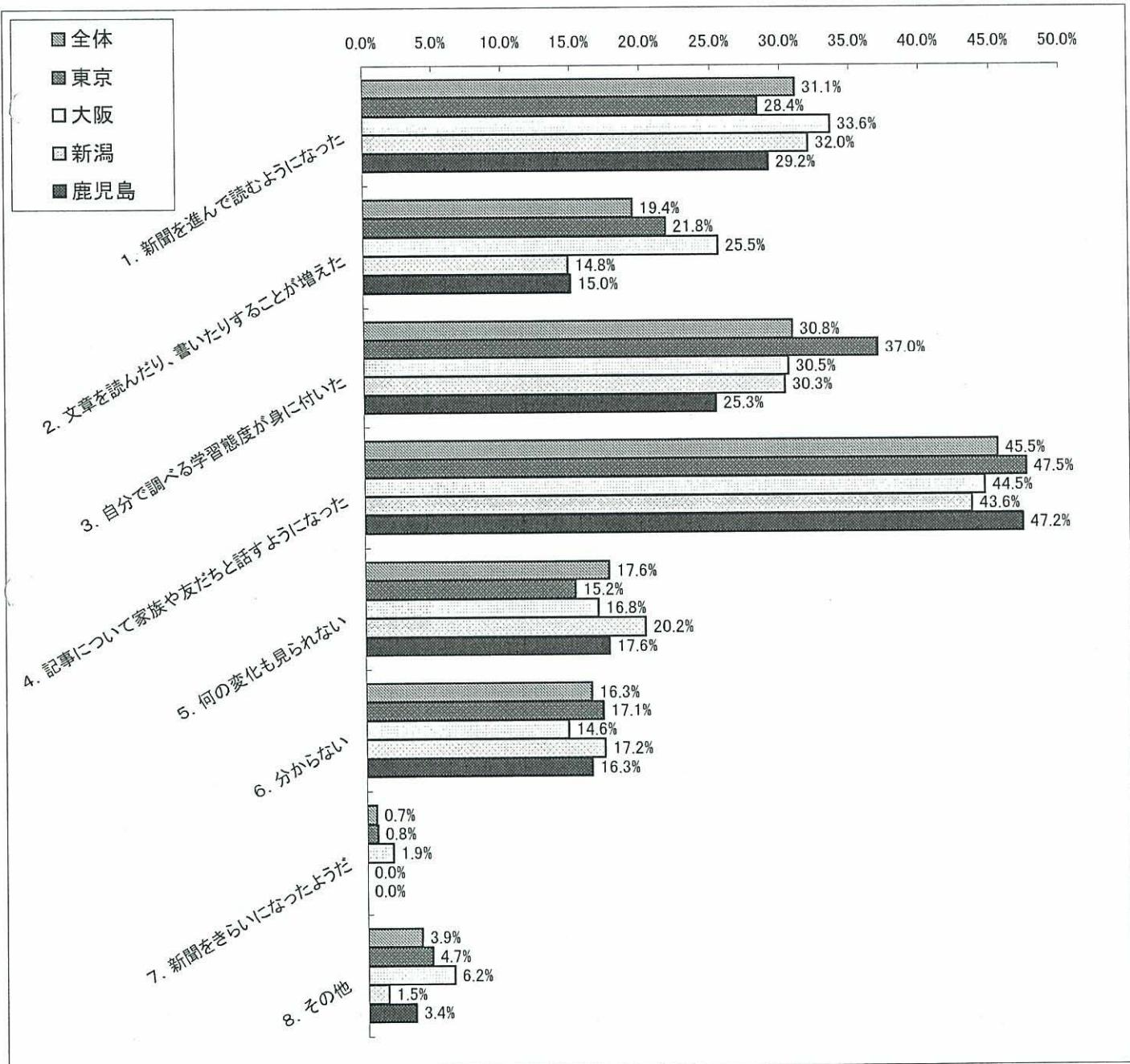
	全体	全体	小学校	小学校	中学校	中学校
1. 新聞を進んで読むようになった	357	31.1%	207	34.2%	150	27.6%
2. 文章を読んだり、書いたりすることが増えた	223	19.4%	136	22.5%	87	16.0%
3. 自分で調べる学習態度が身に付いた	354	30.8%	218	36.0%	136	25.0%
4. 記事について家族や友だちと話すようになった	522	45.5%	306	50.6%	216	39.8%
5. 何の変化も見られない	202	17.6%	89	14.7%	113	20.8%
6. 分からない	187	16.3%	79	13.1%	108	19.9%
7. 新聞をきらいになったようだ	8	0.7%	7	1.2%	1	0.2%
8. その他	45	3.9%	30	5.0%	15	2.8%



## 5-2. 学校で「新聞を使った授業」を受けたことによる子どもの変化

※複数回答

	全体	全体	東京	東京	大阪	大阪	新潟	新潟	鹿児島	鹿児島
1. 新聞を進んで読むようになった	357	31.1%	73	28.4%	108	33.6%	108	32.0%	68	29.2%
2. 文章を読んだり、書いたりすることが増えた	223	19.4%	56	21.8%	82	25.5%	50	14.8%	35	15.0%
3. 自分で調べる学習態度が身に付いた	354	30.8%	95	37.0%	98	30.5%	102	30.3%	59	25.3%
4. 記事について家族や友だちと話すようになった	522	45.5%	122	47.5%	143	44.5%	147	43.6%	110	47.2%
5. 何の変化も見られない	202	17.6%	39	15.2%	54	16.8%	68	20.2%	41	17.6%
6. 分からない	187	16.3%	44	17.1%	47	14.6%	58	17.2%	38	16.3%
7. 新聞をきらいになったようだ	8	0.7%	2	0.8%	6	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
8. その他	45	3.9%	12	4.7%	20	6.2%	5	1.5%	8	3.4%



## その他の回答

- ・「新聞を使った授業」がわかつていないうです。
- ・N H K の土曜夕方の子供ニュースを見る。
- ・いままでは見なかつた新聞欄を毎回ではないが読むようになったか、と思います（特に政治とか社会欄等）が、大きくは変わっていないと思うし、そぶりも見せません。
- ・インターネットでニュースを調べるようになった。
- ・その時には新聞を読んで調べるのですが、毎日来ている新聞に対して、あまり興味は示しませ
- ・テレビニュースには相変わらず見るが、新聞は読む時間がない（ゆとりがない）（自分のやりたいことがある等）。
- ・テレビのニュース番組にも興味を持ち、見るようになった。
- ・ひとつの記事について集中して読むようになった。
- ・まだ、新聞のおもしろさに気づいていないようです。子供（小中学生）が新聞を使うようになったので、一年前から、新聞をとるようになりました。
- ・家族の話題が増えた。
- ・学校で休み時間、友人と新聞を書いているようです。
- ・学校の授業の事を話すようになった。自分の意見を持つようにになった。
- ・楽しそうにしていた。
- ・記事の内容についてたずねることがある。
- ・記事を読んで感想を持つようになった。
- ・語彙が増えたように思う。文章が少しうまくなつた。
- ・自分でも読めることに喜びと驚きがあるようです。
- ・自分にもわかるような新聞をとってほしいと言つたので「N e w s がわかる」という月刊誌を毎月買っていますが、わかりづらいようです。（まだ1年生なので）
- ・宿題で出た時は、読んで、切り抜いている。
- ・宿題のテーマに関係のある記事を切り抜く、クロスワードや投稿欄に時間をかけている。
- ・小学校入学前から新聞が大好きでよく読みます。最近は自分の興味の範囲が広がつたように思え
- ・少しずつ、今何が起きているかを、理解できている様子だと思う。
- ・新聞スクラップを毎日かかさずやっている。
- ・新聞は読まないが、受身のテレビのニュースは見るようになったと思う。
- ・新聞を使った授業のため、その記事を見つける目的だけに見ているようで、読んではいない。
- ・新聞を朝刊だけとるようになった。
- ・親が記事について話しているときに、会話に入ってくる。
- ・図書館に置かれている各新聞社のこども新聞を読み比べるようになったので、図書館では本を読むだけだったのが子供にとって、勉強の場に変わつたなあと実感している。
- ・政治や社会情勢について、話し合えるようになったし、地球の温暖化の危機を感じるようになり、何とかしなければ、と考えるようになった。
- ・切りとつてファイルすることに興味をもつた。
- ・読む時間が増えてきた。
- ・読んでいるのかわからないが、必ず、目を通している。
- ・分からぬ事を質問してくるようになった。
- ・本人の希望で新聞を購読するようになった。
- ・毎回、宿題となる新聞づくりのレイアウトや内容が充実してきた。
- ・毎日、新聞を読もうと考えたようだが、2日も続かなかつた。

## 6. 新聞活用授業の評価

「子どもが新聞を使った授業を受けていることについてどう思うか」の問では9割が「よいことだ」と回答している。その理由としては「社会に关心を向けるきっかけとなる」(85.9%)が圧倒的で、次に「家族や友だちと社会のことを話題にして話し合えるようになる」(43.5%)となっている。新聞を通して、コミュニケーションや視野が広がることを期待していることがうかがわれる。地域別では大きな差異は見られなかった。

一方、「問題がある」と回答したのは1.7%でごくわずかだった。その理由としては「偏ったものの見方が教えられる恐れがある」「新聞を取っていない家もあり、家で読める子とそうでない子に差が生まれる」などが挙げられた。

6-1. 子どもが学校で「新聞を使った授業」を受けていることについてどう思うか

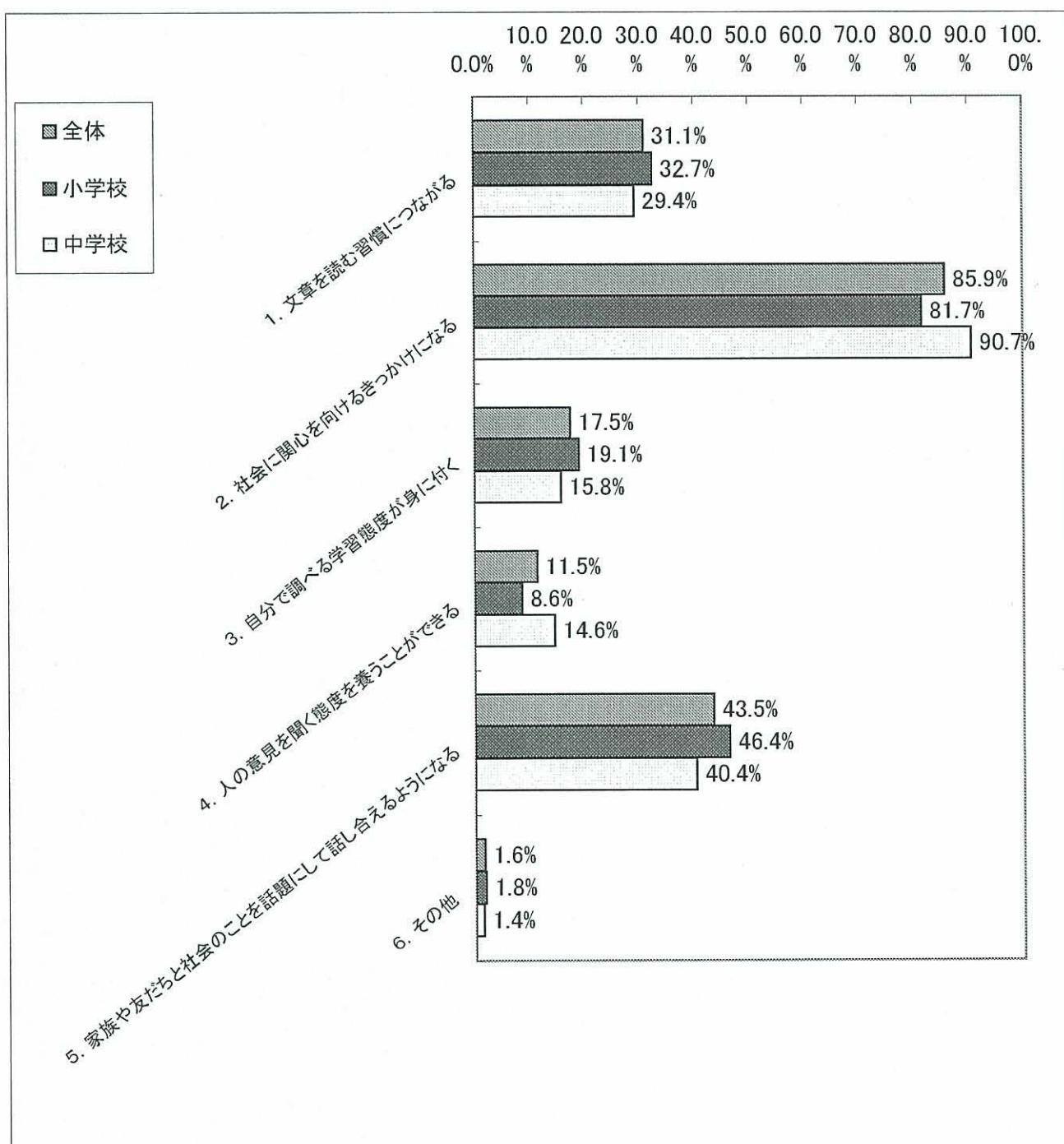
	全体	%	小学校	%	中学校	%
1. よいことだと思う	1038	90.4%	545	90.1%	493	90.8%
2. 特に感想はない	75	6.5%	45	7.4%	30	5.5%
3. 問題がある	20	1.7%	9	1.5%	11	2.0%
4. その他	13	1.1%	6	1.0%	7	1.3%
無回答	2	0.2%	0	0.0%	2	0.4%
	1148	100.0%	605	100.0%	543	100.0%

6-2. 子どもが学校で「新聞を使った授業」を受けていることについてどう思うか

	全体	%	東京	%	大阪	%	新潟	%	鹿児島	%
1. よいことだと思う	1038	90.4%	237	92.2%	279	86.9%	305	90.5%	217	93.1%
2. 特に感想はない	75	6.5%	13	5.1%	33	10.3%	17	5.0%	12	5.2%
3. 問題がある	20	1.7%	5	1.9%	6	1.9%	6	1.8%	3	1.3%
4. その他	13	1.1%	1	0.4%	3	0.9%	8	2.4%	1	0.4%
無回答	2	0.2%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
	1148	100.0%	257	100.0%	321	100.0%	337	100.0%	233	100.0%

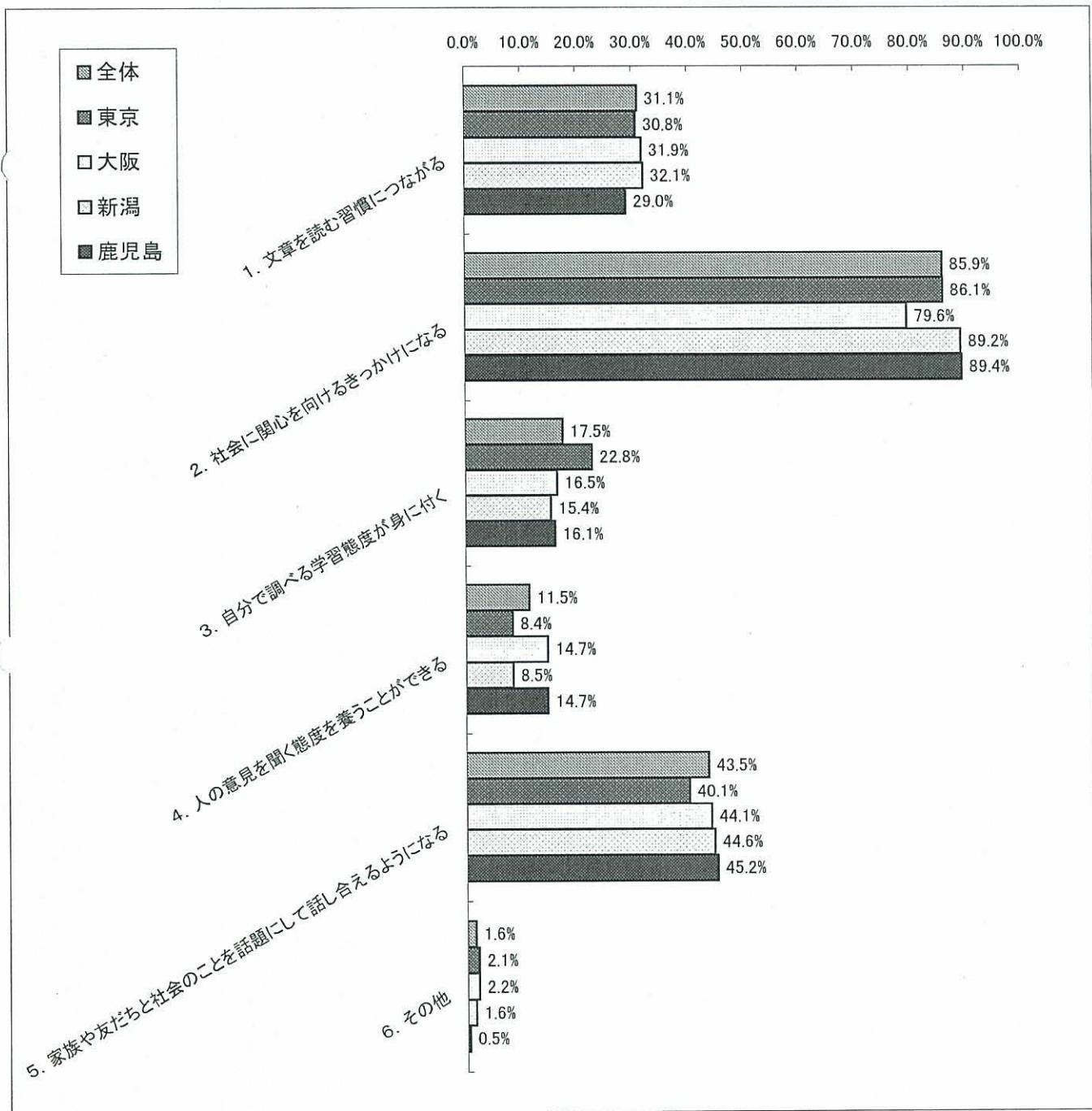
### 6-3. 「よいことだと思う」理由(二つまで選択)

	全体	全体	小学校	小学校	中学校	中学校
1. 文章を読む習慣につながる	323	31.1%	178	32.7%	145	29.4%
2. 社会に关心を向けるきっかけになる	892	85.9%	445	81.7%	447	90.7%
3. 自分で調べる学習態度が身に付く	182	17.5%	104	19.1%	78	15.8%
4. 人の意見を聞く態度を養うことができる	119	11.5%	47	8.6%	72	14.6%
5. 家族や友だちと社会のことを話題にして話し合えるようになる	452	43.5%	253	46.4%	199	40.4%
6. その他	17	1.6%	10	1.8%	7	1.4%



#### 6-4. 「よいことだと思う」理由(二つまで選択)

	全体	全体	東京	東京	大阪	大阪	新潟	新潟	鹿児島	鹿児島
1. 文章を読む習慣につながる	323	31.1%	73	30.8%	89	31.9%	98	32.1%	63	29.0%
2. 社会に关心を向けるきっかけになる	892	85.9%	204	86.1%	222	79.6%	272	89.2%	194	89.4%
3. 自分で調べる学習態度が身に付く	182	17.5%	54	22.8%	46	16.5%	47	15.4%	35	16.1%
4. 人の意見を聞く態度を養うことができる	119	11.5%	20	8.4%	41	14.7%	26	8.5%	32	14.7%
5. 家族や友だちと社会のことを話題にして話し合えるようになる	452	43.5%	95	40.1%	123	44.1%	136	44.6%	98	45.2%
6. その他	17	1.6%	5	2.1%	6	2.2%	5	1.6%	1	0.5%



## その他の回答

- ・ 家で新聞をとる。
- ・ 家で読まないので、読むきっかけになればよい。
- ・ 新聞を読み始めるきっかけになる。
- ・ 家族のコミュニケーションが増えた。
- ・ 四字熟語の意味が四コママンガでわかりやすく理解できた。
- ・ 自分で考え、自分で判断し、自分で責任を持てるようになると言いたいが、しょせん経験をつまなければならない。
- ・ 将来役に立つ。
- ・ 新聞が必ずしも正しいとは限らないことを知った。
- ・ 新聞記事で興味を持った事を調べる事で本当に身につく。
- ・ 知識を吸収する範囲が増える。
- ・ 視野が広がると思います。
- ・ ニュース番組を積極的に見るようになった。
- ・ 子供には、今これと言った変化はないが、今後に期待したい。
- ・ よいことだと思うが、成果というと今の所はないように思う。

6-5. 「問題がある」理由(二つまで選択)

	全体	%	小学校	%	中学校	%
1. 新聞は読むのが難しすぎる	4	20.0%	3	33.3%	1	9.1%
2. 記事や広告に子どもに読ませたくない ものが含まれている	6	30.0%	3	33.3%	3	27.3%
3. 傾ったものの見方が教えられる恐れがある	11	55.0%	4	44.4%	7	63.6%
4. 新聞を取っていない家もあり、家で読める子 とそうでない子に差が生まれる	8	40.0%	3	33.3%	5	45.5%
5. 無理に読ませられるので新聞 (読書)嫌いになる	3	15.0%	3	33.3%	0	0.0%
6. その他	3	15.0%	1	11.1%	2	18.2%

6-6. 「問題がある」理由(二つまで選択)

	全体	%	東京	%	大阪	%	新潟	%	鹿児島	%
1. 新聞は読むのが難しすぎる	4	20.0%	1	20.0%	1	16.7%	2	33.3%	0	0.0%
2. 記事や広告に子どもに読ませたくないものが含まれている	6	30.0%	2	40.0%	2	33.3%	1	16.7%	1	33.3%
3. 傾ったものの見方が教えられる恐れがある	11	55.0%	2	40.0%	4	66.7%	3	50.0%	2	66.7%
4. 新聞を取っていない家もあり、家で読める子とそうでない子に差が生まれる	8	40.0%	4	80.0%	1	16.7%	2	33.3%	1	33.3%
5. 無理に読ませられるので新聞(読書)嫌いになる	3	15.0%	0	0.0%	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
6. その他	3	15.0%	1	20.0%	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%

## 問10 その他

### その他の回答

- ・この授業あまり時間を取りたくない、新聞は家でも読める。
- ・もっと漢字を自分で調べてほしい（聞けないと宿題ができない）と言う。本を読まなくなった。新聞読んだからもういいやという気持ちになる。
- ・心を育てるような記事少なすぎる、事件が多くすぎる、それも必要であるが…心を育てるような記事が必要→子供だけでなく、大人も必要です。
- ・新聞は個人が読みたい時に読みたい物を読むものであえて学校で取り扱う必要はないと思うから。

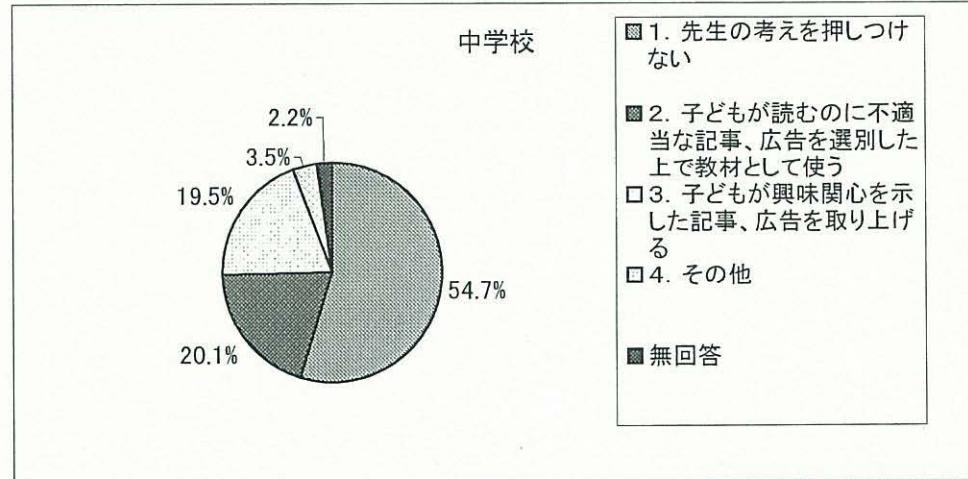
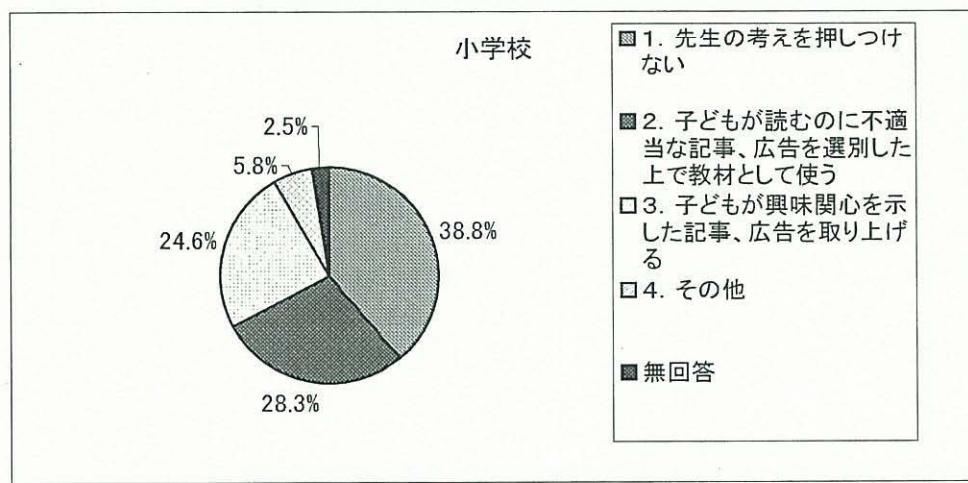
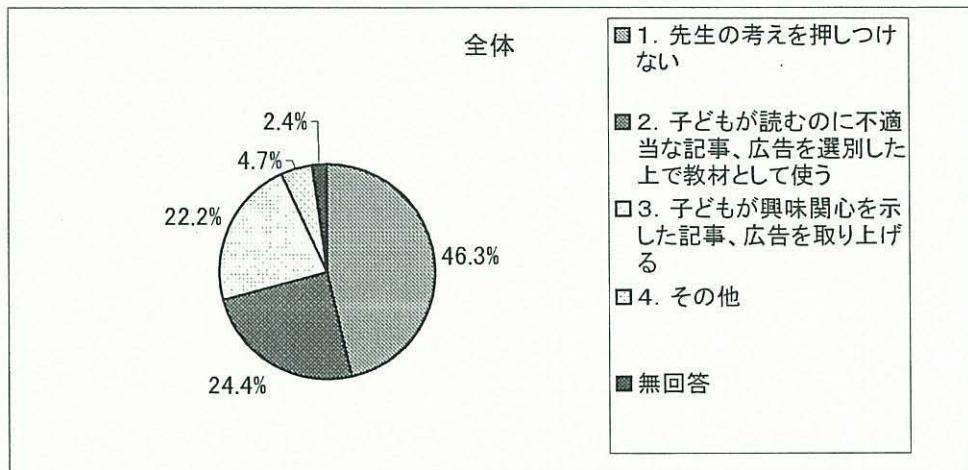
## 7. 先生に気をつけてほしいこと

教材として新聞を使う場合、先生が気をつけてほしいことでは「先生の考え方を押しつけない」(46.3%)がトップだった。特に中学校では54.7%と小学校(38.8%)に比べ、高い比率となっている。

また、「子どもが読むのに不適当な記事、広告を選別した上で教材として使う」「子どもが興味関心を示した記事、広告を取り上げる」も小中、地域別で見ても2割から3割近くを占めている。

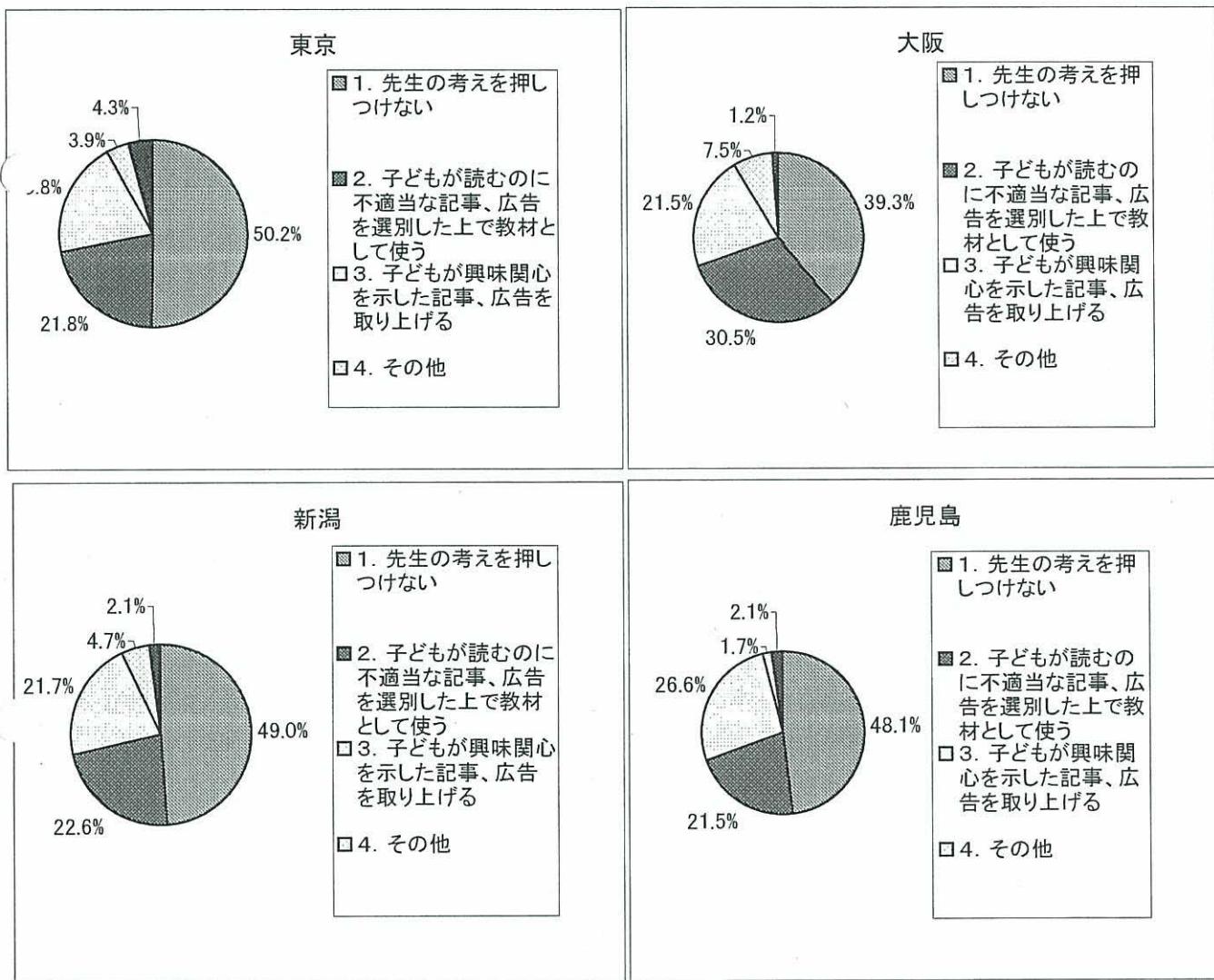
## 7-1. 教材として新聞を使う場合、先生が気をつけてほしいこと

	全体	%	小学校	%	中学校	%
1. 先生の考えを押しつけない	532	46.3%	235	38.8%	297	54.7%
2. 子どもが読むのに不適当な記事、広告を選別した上で教材として使う	280	24.4%	171	28.3%	109	20.1%
3. 子どもが興味関心を示した記事、広告を取り上げる	255	22.2%	149	24.6%	106	19.5%
4. その他	54	4.7%	35	5.8%	19	3.5%
無回答	27	2.4%	15	2.5%	12	2.2%
	1148	100.0%	605	100.0%	543	100.0%



## 7-2. 教材として新聞を使う場合、先生が気をつけてほしいこと

	全体	%	東京	%	大阪	%	新潟	%	鹿児島	%
1. 先生の考えを押しつけない	532	46.3%	129	50.2%	126	39.3%	165	49.0%	112	48.1%
2. 子どもが読むのに不適当な記事、広告を選別した上で教材として使う	280	24.4%	56	21.8%	98	30.5%	76	22.6%	50	21.5%
3. 子どもが興味関心を示した記事、広告を取り上げる	255	22.2%	51	19.8%	69	21.5%	73	21.7%	62	26.6%
4. その他	54	4.7%	10	3.9%	24	7.5%	16	4.7%	4	1.7%
無回答	27	2.4%	11	4.3%	4	1.2%	7	2.1%	5	2.1%
	1148	100.0%	257	100.0%	321	100.0%	337	100.0%	233	100.0%



## 問11 その他

### 他の回答

- ・ひとつの新聞の論調だけでなく、色々な意見があることをフォローしてほしい。
- ・同じ記事についても様々な考え方、書き方があるので多くの新聞を扱ってほしい。
- ・より、たくさんの意見や考え方がある事を教えてあげて欲しいです。その中で、自己の考えをまとめていく要素になればと思います。
- ・特定の新聞だけを取り扱わないようにしてほしい。
- ・記事を書いている人が必ずしも正しいわけではないことを知らせてほしい。活字のおそろしさも伝えて欲しい。
- ・それぞれの先生がいろいろな記事について、子供たちにわかるよう説明してくださるので、知識が広がり、大変良いのでこのまま続けてほしいです。
- ・ただ文を読ませるのみでなく、短い文章のものとっかかりやすいものでよいので、内容について話し合う時間があると理解が深まり良いと思う。
- ・マンネリ化にならないように色々と工夫してほしい。
- ・記事を通して正しい人間としての生き方を指導していただきたいり子供に考えさせたりしていただきたい。
- ・記事を理解していく上で正しく理解できる力をつけてほしい。例えば「なぜこんなことが起きるのか」とか「自分ならどうするか」など。
- ・物の善悪は良いと思うが、考えをおしつけない、悪の場合なぜそうなったかという心の中まで教える。
- ・物事をとらえる正しいものさしを持てるような指導してほしい。
- ・教材としてふさわしいかどうか、学習のねらいを明確に取り組んでほしい。
- ・広い視野がもてるような取り上げ方をして欲しい。
- ・特に選別せず、様々な内容、テーマを取り上げる。
- ・広く浅くで良いと思う。
- ・定期的に子供たちに記事を取りあげてほしい。クラスのみんなと合評してほしい。
- ・子供の興味関心を大切にしてほしい。
- ・事実を隠すことなく、先生方にとて、イヤなことでもしっかりと伝えてほしい。
- ・宿題などに出されると、新聞を取っていない家もあるので考えてほしい。
- ・新聞を読む事を特別な事にしないでほしい。日常いつもする事でその他に本を読ませること、物語のおもしろさを教えることを忘れないでほしい。
- ・新聞記者のように、新聞にくわしい方に公開授業などをしてもらう場を作るべき。
- ・政党系、宗教系の新聞も使ってみてほしい。

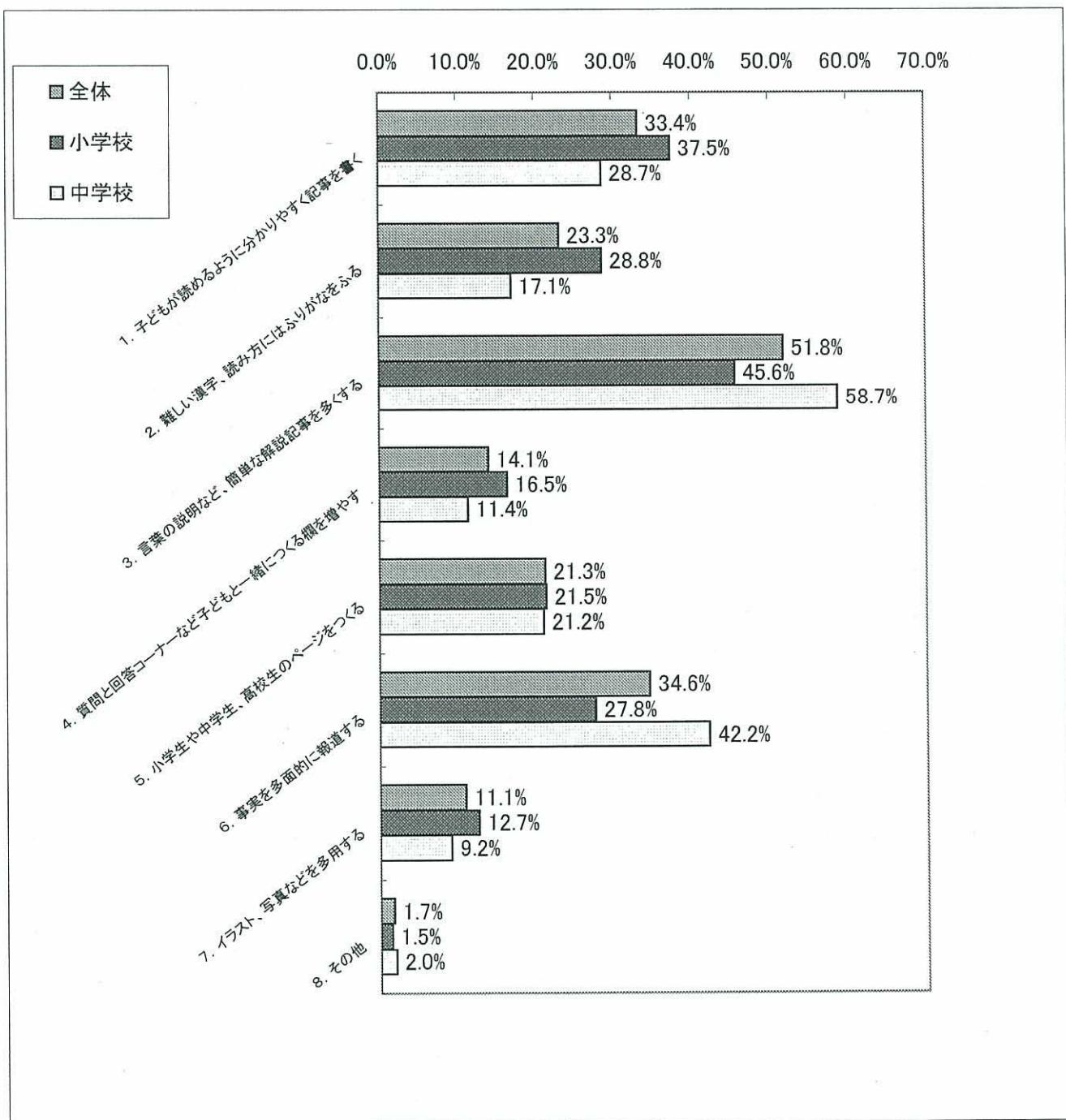
## 8. 新聞に求めるもの

教材として新聞を使う場合に、新聞に求めるものとしては「言葉の説明など、簡単な解説記事を増やす」(51.8%)「事実を多面的に報道する」(34.6%)「子どもが読めるように分かりやすく記事を書く」(33.4%)が多く挙げられた。

小学校では「言葉の説明など、簡単な解説記事を増やす」(45.6%)に次いで「子どもが読めるように分かりやすく記事を書く」(37.5%)「難しい漢字、読み方にふりがなをふる」(28.8%)となっており、子どもでも読みやすい、分かりやすい新聞を求める声が多い。一方、中学校では「言葉の説明など、簡単な解説記事を増やす」(58.7%)と「事実を多面的に報道する」(42.2%)の二つが高い。

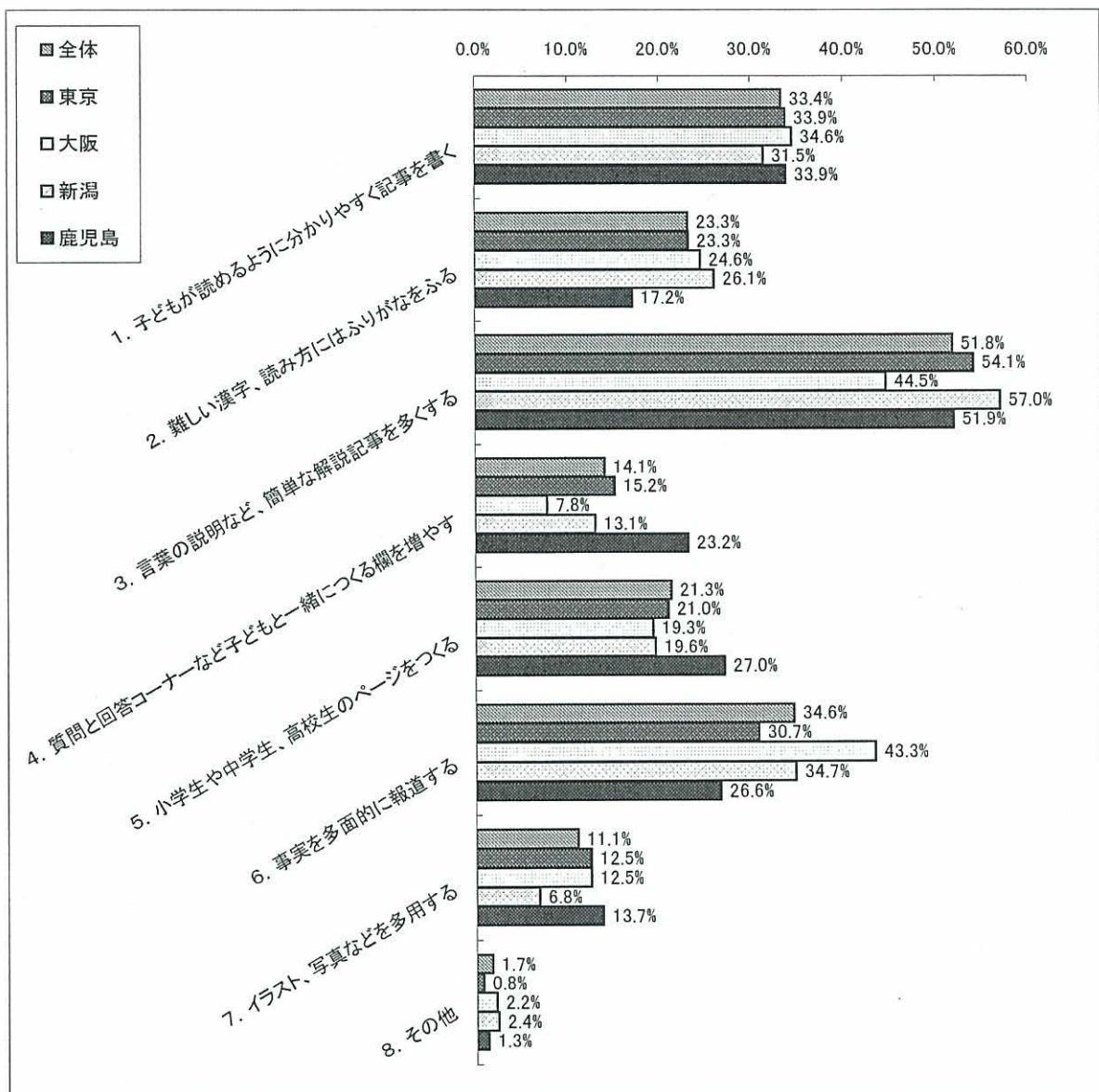
### 8-1. 教材として新聞を使う場合、その新聞に求めるもの(二つまで選択)

	全体	全体	小学校	小学校	中学校	中学校
1. 子どもが読めるように分かりやすく記事を書く	383	33.4%	227	37.5%	156	28.7%
2. 難しい漢字、読み方にはふりがなをふる	267	23.3%	174	28.8%	93	17.1%
3. 言葉の説明など、簡単な解説記事を多くする	595	51.8%	276	45.6%	319	58.7%
4. 質問と回答コーナーなど子どもと一緒につくる欄を増やす	162	14.1%	100	16.5%	62	11.4%
5. 小学生や中学生、高校生のページをつくる	245	21.3%	130	21.5%	115	21.2%
6. 事実を多面的に報道する	397	34.6%	168	27.8%	229	42.2%
7. イラスト、写真などを多用する	127	11.1%	77	12.7%	50	9.2%
8. その他	20	1.7%	9	1.5%	11	2.0%



8-2. 教材として新聞を使う場合、その新聞に求めるものは何ですか(二つまで選択)

	全体	全体	東京	東京	大阪	大阪	新潟	新潟	鹿児島	鹿児島
1. 子どもが読めるように分かりやすく記事を書く	383	33.4%	87	33.9%	111	34.6%	106	31.5%	79	33.9%
2. 難しい漢字、読み方にはふりがなをふる	267	23.3%	60	23.3%	79	24.6%	88	26.1%	40	17.2%
3. 言葉の説明など、簡単な解説記事を多くする	595	51.8%	139	54.1%	143	44.5%	192	57.0%	121	51.9%
4. 質問と回答コーナーなど子どもと一緒につくる欄を増やす	162	14.1%	39	15.2%	25	7.8%	44	13.1%	54	23.2%
5. 小学生や中学生、高校生のページをつくる	245	21.3%	54	21.0%	62	19.3%	66	19.6%	63	27.0%
6. 事実を多面的に報道する	397	34.6%	79	30.7%	139	43.3%	117	34.7%	62	26.6%
7. イラスト、写真などを多用する	127	11.1%	32	12.5%	40	12.5%	23	6.8%	32	13.7%
8. その他	20	1.7%	2	0.8%	7	2.2%	8	2.4%	3	1.3%



## その他の回答

- ・もう少し地球全体での見方をしてほしい。
- ・楽しい記事、明るい記事も多く取り入れてほしいと思います。
- ・完全な不偏不党はあり得ない事を理解させてほしい。
- ・考えを押しつけるような報道をしてほしくない。
- ・新聞社側に教材に活用されているという意識と、世論形成の中核を担っている意識とプライドを持ってほしい。
- ・対立意見など、多面的な報道がある事を伝えてほしい。新聞紙面に載るとそれだけで唯一無比の真実に見える恐れあり。
- ・日本の報道はひとつの事件等最後まで報道しないので、「あの事件は結局どうなったの?」というものはばかりで、新聞への興味がなくなる。
- ・他のメディアの取りあげ方も合わせて考える。
- ・子供に興味のあるジャンルについてアンケートを行い、子供向けのページを作る。
- ・子どものための新聞を作るのではなく、子どもが大人の世界や社会をかい間見るものであれば良いと思う。
- ・新聞が子供にすりよる必要はないのでは?新聞を読める学力をつけることがまず先決だと思います。
- ・新聞はそもそも学校教育用に作られていない。
- ・先生の適切な指導があれば、とくに「合わせる」必要がない。(中・高生なら)「これは新聞だ」と教えるのも教育の一環。
- ・特に何の配慮もなく、そのままで良い。

## 「保護者に対するNIE調査」を読んで

日本新聞教育文化財団NIEコーディネーター 加瀬 雄二

保護者の10人中9人が「新聞を活用した授業はよいこと」と認めている——NIE授業を受けている小・中学生の保護者に対する初の調査で、こんな答えが出た。NIEは教室の中だけでなく、家庭、地域との連携した活動にと呼ばれている近年、まずは喜ばしい結果といえる。反面、「NIE」を知っている保護者は10人中3人にしかすぎず、この認知度の低さは、NIEを生涯学習型に育てていくなど今後の活動に課題を残した。

まず、「子供が自宅で新聞を読む習慣」は、「毎日」「ときどき」を合わせると小・中学生の保護者とも71%が「ある」と答えた。そして「子供が読んだ記事について家庭で話すか」では小学生52%、中学生49%とほぼ半数が話していた。

2003年の「NIE実践効果測定調査」の児童・生徒自身の回答では、「家庭での読む習慣」は小学生の86%、中学生の80%があり、「家庭で話す」は小・中学生とも74%が「話す」としており、今回の保護者の見方との間に大きな差が見られた。しかし、今回「親が読んだ新聞について子供に話すか」では小・中学生の保護者とも75%が「話す」としており、家族を巻き込んだNIE学習——ファミリーフォーカスは親子双方から話題を出し合っている姿がうかがえた。子供の家庭での「新聞を読み、話す習慣」を保護者が補っているようだ。

注目されるのは「話す記事の内容」だ。親子ともども「テレビニュースで話題になっている記事」を上位にあげ、特に保護者側からの話題では群を抜いてのトップだった。テレビでまずニュースを知り、新聞で詳しく追跡し話し合うという、日常の生活での2つのメディアの補完関係がはっきりと表れている。

「新聞を使った授業による子供の変化」では「記事について家族や友だちと話すようになった」「新聞を進んで読むようになった」「調べ学習が身に付いた」などがあげられ、これらは効果測定調査での実践教師、児童・生徒の意見とほぼ同じだった。

そして、保護者の90%が「新聞活用授業はよい」と回答した。その理由は、社会に対して目が開かれるに次いで、「家族や友人と社会の話題で話し合えるようになる」としており、まさに家庭を巻き込んだファミリーフォーカスの狙い通りだった。

日本で組織的なNIE活動がスタートして満15年。その推進母体となっている地域の推進協議会は42都道府県（6月22日現在）で整備された。いまNIEは、すそのを広げるのと同時に、内容を深める段階に来ている。そのひとつにファミリーフォーカスが考えられる。調査地域がわずか4地域でサンプル数も少なかったが、今回、新聞をはさんで親子で話し合う姿など、かなりの好結果を得た。今後の活動に生かしていくかねばならない。

以上